

【事業実績】

1. 学校教育と連携したアウトリーチ活動

1(1)①. 高校生を対象にした写真教室の実施

日 時：令和元年 9 月 30 日（月） 10:00～15:00

場 所：美幌博物館

講 師：前川貴行（動物写真家）

参加人数：美幌高等学校 写真部 部員 10 名 顧問 1 名

内 容：剥製を用いることで、撮影のノウハウを知ることができた。また、撮影した作品を講評し、自分の作品の良い点・改善点を学んだ。



剥製を使って撮影のノウハウを学ぶ



レンズの特性についてレクチャー



撮影した写真の品評

1(1)②. 大学生・一般を対象にした写真教室の実施

日 時：令和元年 10 月 5 日（土） 10:00～17:00

場 所：美幌博物館

講 師：前川貴行（動物写真家）

参加人数：東京農業大学 学生 7 名・教員 1 名 美幌町民 7 名

内 容：剥製を用いることで、撮影のノウハウを知ることができた。また、撮影した作品を品評し、自分の作品の良い点・改善点を学んだ。加えて、様々なレンズを使った撮影技術について、実際に前川氏が撮影した写真を見ながらイメージし、それぞれのレンズの特性を理解した。



カメラの使い方について直接指導いただく



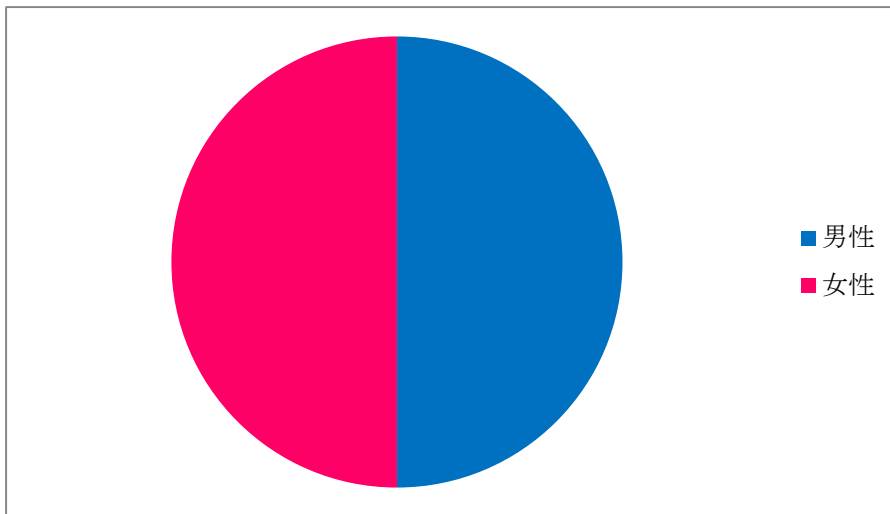
作品を例に撮影のテクニックを学ぶ



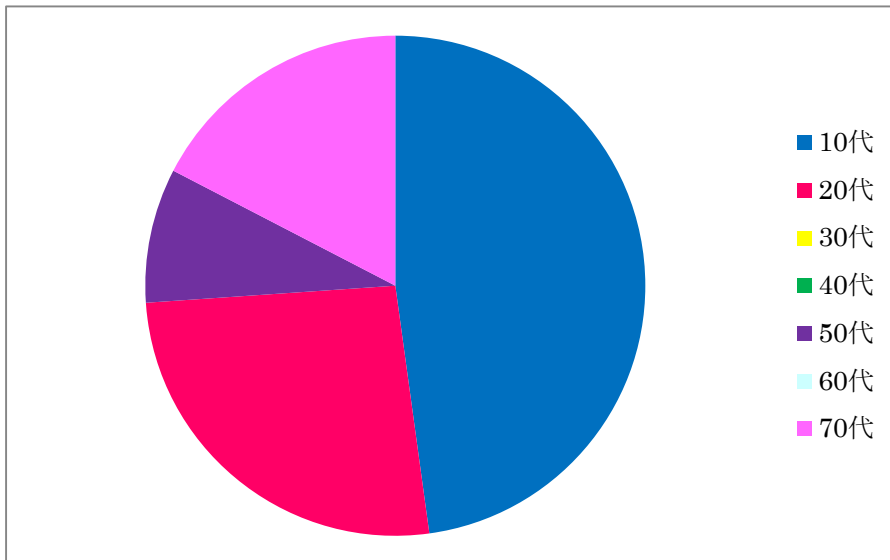
撮影した写真の品評

写真教室 アンケート集計結果

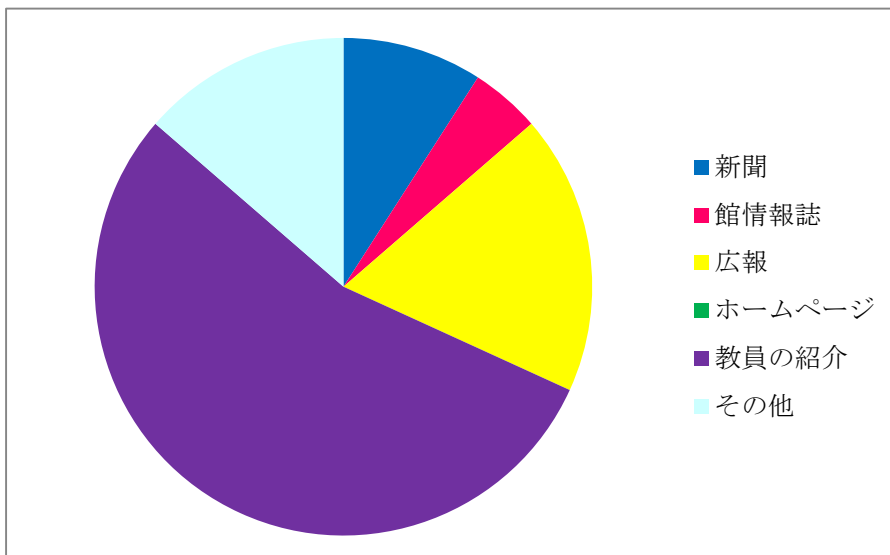
参加者の男女比



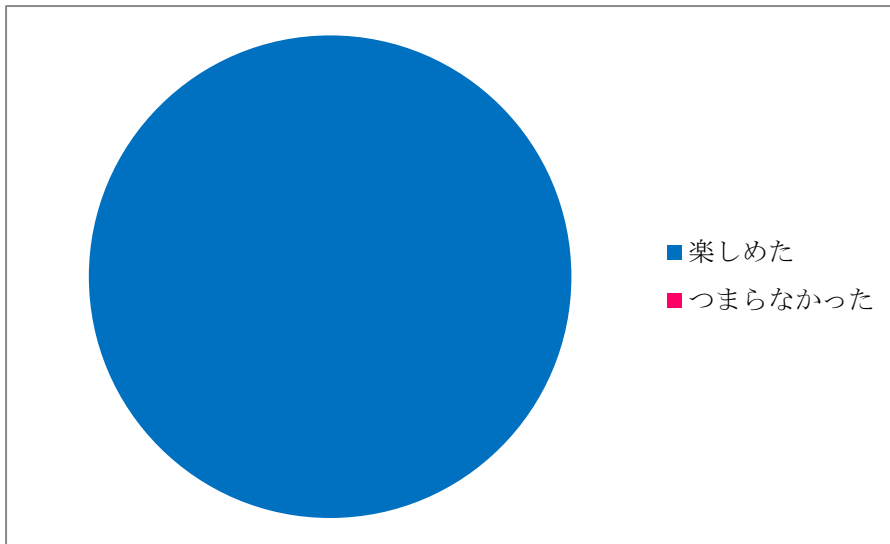
参加者の年齢



1. 今回の写真教室は何で知りましたか？



2. 写真教室は楽しめましたか？



写真教室を楽しめた理由

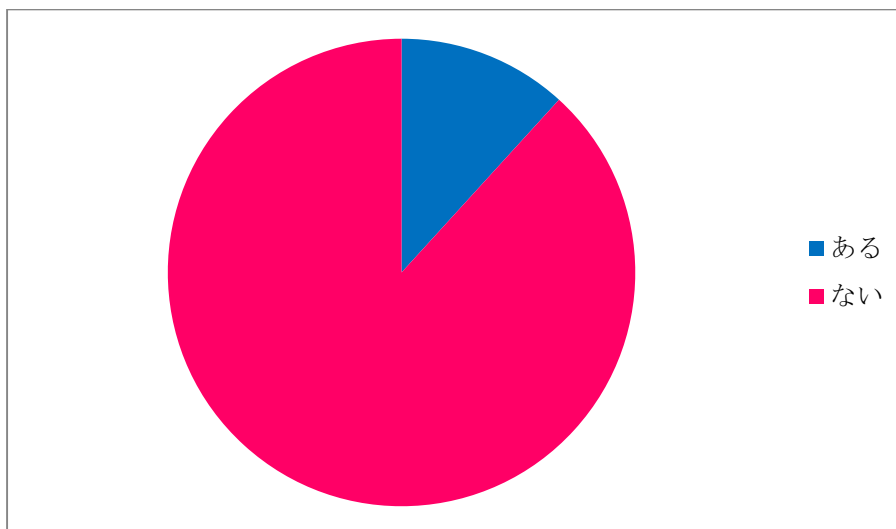
- ・写真家の方と一緒に展示物を撮り、評価してもらったこと。
- ・一か所を集中して撮影することがなかったため様々な角度から撮影することで見え方が全く異なることに気づけたため。
- ・実際に自分で撮った写真を前川さんに見ていただいて、良い点と改善点を教えていただけたから。
- ・前川さんのお人柄、自由にとれたこと、私のような者の写真をほめて頂けてうれしかったです。
- ・動物を撮ることはほとんどないので、外国の様子などと合わせて楽しめました
- ・迫力ある先生の写真に感動しました。素晴らしい写真を撮られる人の話を直にお聞きできたことは大変良かった。
- ・いろいろな資料や体験談があり、参考になり良かった。
- ・先生の写真の実践のお話を聞いたこと、その時々撮り方などのお話し撮影の熱意を感じ、楽しく過ごせました。
- ・外で動物の剥製を使って実際に撮影練習をできたので、楽しかったです。
- ・動物を撮ったのがはじめてだったからです。
- ・普段動物を撮ることが少なかったから。
- ・剥製を撮るのが楽しかったです。
- ・ちゃんとした講師のもと指導して頂けて楽しかったし、うれしかったです。他の方とは違ってほめてくれたのがうれしかったです。
- ・プロの写真家の方と良いところと悪いところを話し合っ取り組めたからです。
- ・いろいろな角度から撮るコツをたくさん教えてもらえたからです。
- ・動物を撮り技術を学べたからです。
- ・動物は剥製を撮ったのは初めてだったから。

3. 最も勉強になったことは、どんなところですか？

- ・動物を撮るときは、眼にピントを合わせること。
- ・前川さんの方法に縛られない写真を見ることで、様々な魅せ方があることを知ったこと。
- ・写真やカメラについて全く知識がなかったので、構図やレンズの使い方の工夫等、初めて知ることばかりでとても勉強になったところ。
- ・アングルを意識するようになりました。

- ・被写体と向き合い、どう考えて、どう動いて、どんな写真ができあがるか、そのストーリーを聞いたことが貴重な経験でした。
- ・各人の視点がそれぞれ違うところ、自分と同じところ。素晴らしい作品に勉強になりました。
- ・実際にとって（参加者含む）色々勉強になった。
- ・撮影の時の動物にいかに近くに寄り、撮影できるか、少しでも距離を縮める、時間をかける、急がないことなど大変勉強になりました。
- ・野生動物を撮影するときのコツや写真構成などが勉強になりました。
- ・近よりすぎないということ。フクロウを撮るときとキャッチライトを入れるということ。
- ・キャッチライトを意識するだけで面白い写真になったこと
- ・動物を撮る角度。
- ・写真の講話を聞いた時です。
- ・動物を撮るときのコツや目に光が入った方が良いというアドバイスです。
- ・被写体を撮るときに、いかにそのものを活かすことができるかがよい写真を撮るためのポイントになることを知り、活かすための技術を学べたことです。
- ・キャッチライトのとらえ方を学ぶことができました。
- ・動物を撮影するとき、キャッチライトを意識すること。

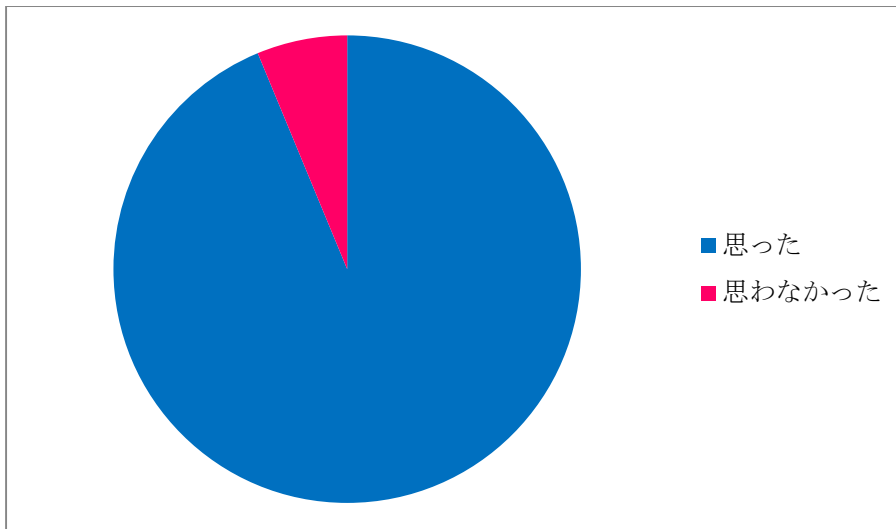
4. つまらなかった内容がありますか？



つまらなかった理由

- ・全くカメラの知識がない中参加したので、初めにレンズやカメラの簡単な解説があると初心者にとっては分かりやすかったと思います。その後のスライドショーで〇mmのレンズを使用と言われても、いまいちピンと来なかったのです。
- ・悪天の為、屋外教室ができなかったこと。

5. 写真教室を受講して、自分の写真技術が向上できそうだと思いますか？



写真教室を受講して、自分の写真技術が向上できたと思えた点

- ・アングルやバランスの配置、ボカシ方などを向上するやり方を教わったから
- ・一か所に限定して撮影しても人によって全く違う写真が出てきて、その写真を見て、さらに魅せ方を学べた。自分でも実践してみて他の方の技術を学び、向上できたと感じたから。
- ・生き物の写真を撮るときには、目に光を入れて生き生きとした表情をとらえるという点。
- ・写真は感性と考えて撮ることを知り、意識が変わりました。
- ・天気が悪く、戸外に出られなかったのが残念でしたが、それなりに学べたと思います。
- ・レイアウト、トリミング、シャッターのタイミングなど。
- ・気持ちはあるけれど技術がないのでむずかしい。
- ・写真の撮り方、アングルで今までと違った撮り方ができるようになった。
- ・写真の撮り方、シャッタースピード 動物に対する撮り方が参考になった。
- ・撮影するときにはできるだけ、特に動物、小鳥などに近づいて撮ることを考える、少し「きれい」な写真が撮れる気がした。
- ・動物を撮影するときの写真構成などが向上できたと思います。
- ・キャッチライトを活かしていこうと思いました。
- ・ほめてくださったところ、ダメだったところを見つけ、良い方向に向上できたと思います。
- ・ぼやかし方や、どのような角度からとればいいのかの点で向上できました。
- ・ピントの合わせる一夜構図の考え方などを向上させることができるのではないかと思います。
- ・キャッチライトの撮り方が向上できたと思います。動物をどの角度からとらえるのかを学べた。

6. 写真教室の感想や、博物館で取り組んでほしいこと（展示会や講座など）があればご記入ください（自由記載）。

- ・本格的な写真家の方と決められた課題を一緒にこなして、お互いを評価するやり方がアマチュアとプロのバトルみたいでとても楽しかった。
- ・満足できました！！保険料だけじゃ安いぐらいです。
- ・館内の展示物の写真を各自で撮っている際に、前川さんから参加者に声をかけてアドバイスをさせていただきたいと感じました。コミュニケーションをたくさん取って教室を盛り上げると、もっと楽しくなると思います。前川さんは、一般の方が持っていないようなカメラやレンズをお持ちなので、参加者が少ないときにはご指導の下、体験をさせたりするのも良いのではないかと思います。

ました。

- ・小学生や幼児も家族で参加できる観察会があればと思います。
- ・写真コンクールなどではなく、素人の写真を募集し、展示会などを開いてほしい。町内に設備の整ったギャラリー的なものがないので、博物館の集客や認知を広げるためにも必要ではと考える。
- ・今後も続けて頂きたいと思う。
- ・教育委員会で教室があれば、写真クラブがあれば楽しみになるのでは？ほかにも多くの人が興味あるのでは？
- ・風景、動物、小鳥、写真など、油絵などの展示会場が美幌にないので、設備が整ったところがあれば、良いと思う。写真講座もあれば良いと思います。
- ・特になし。
- ・とても興味深く、参考になりました。
- ・とても楽しかったです。これから活かしていきたいと思いました！本当にありがとうございました！
- ・農業写真教室。
- ・なし。

1(1)③. 小学生を対象にしたスライド会の開催

日 時：令和元年 10 月 2 日（水） 8:30～9:15

場 所：美幌町立旭小学校 体育館

講 師：前川貴行（動物写真家）

参加人数：旭小学校児童 3・6 年生 134 名 教員 10 名

内 容：前川氏が世界中で撮影した野生動物の写真を投影し、撮影の様子などについて、お話いただいた。様々な動物の登場に児童たちは興味津々だった。



小学生の体育館でスライドトークを実施

2. フォトコンテスト

2(1)①. フォトコンテストの開催

・周知活動

美幌町内の公共施設・観光施設・宿泊施設・商店等にポスターを掲示し、施設の許可が得られた場所については、チラシも配布した。また、美幌博物館ホームページや SNS を活用してフォトコンテストの公募について広く周知し、作品を募った。加えて、道内外の博物館や道内の観光施設・商工会議所など様々な場所にチラシを配布した。さらに、新聞広告にも募集記事を掲載し、報道機関には公募情報を告知し、新聞記事に掲載した。入賞作品については、特別展「写真家 前川貴行の生き物バンザイ！」に展示し、観光情報誌や新聞記事等でフォトコン入賞作品や展示についても紹介した。

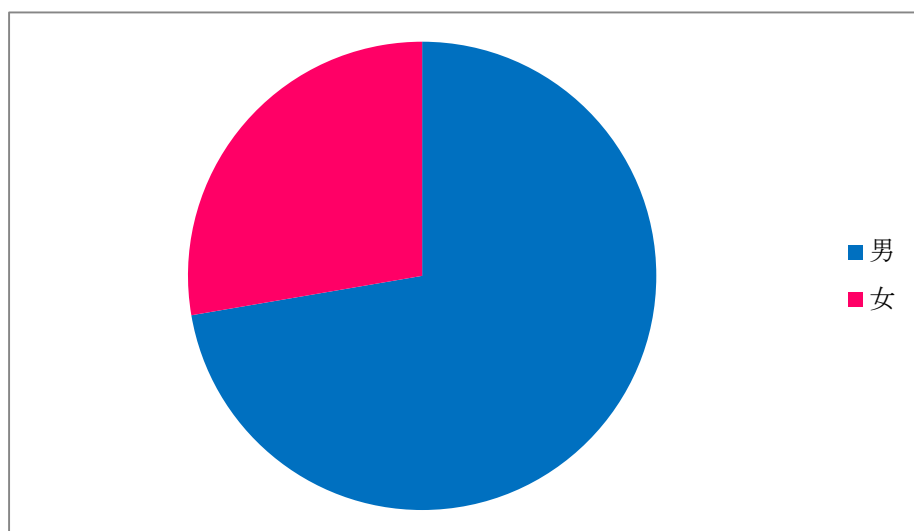
・応募点数

参加人数 63 名、総計 262 点（生き物 72 点、風景 161 点、人物 29 点）

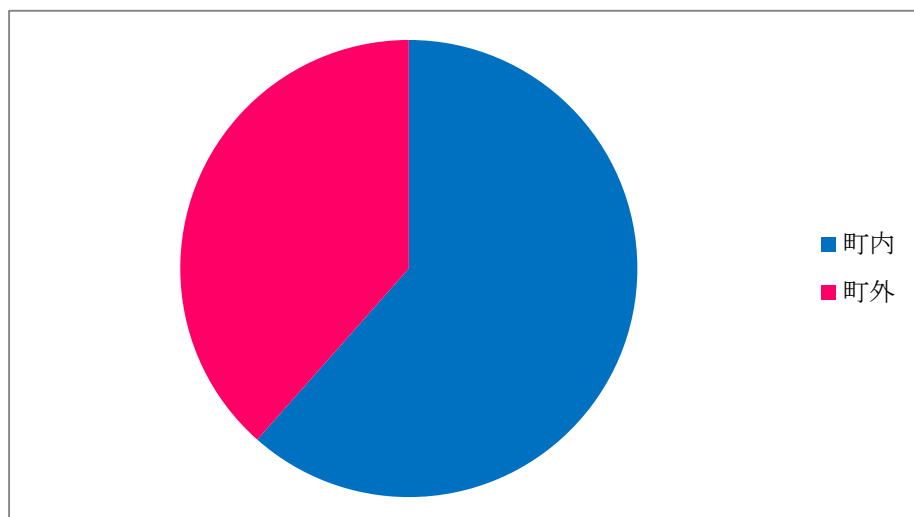
このうち外国人の方からの作品も 8 点あった。

応募者の内訳

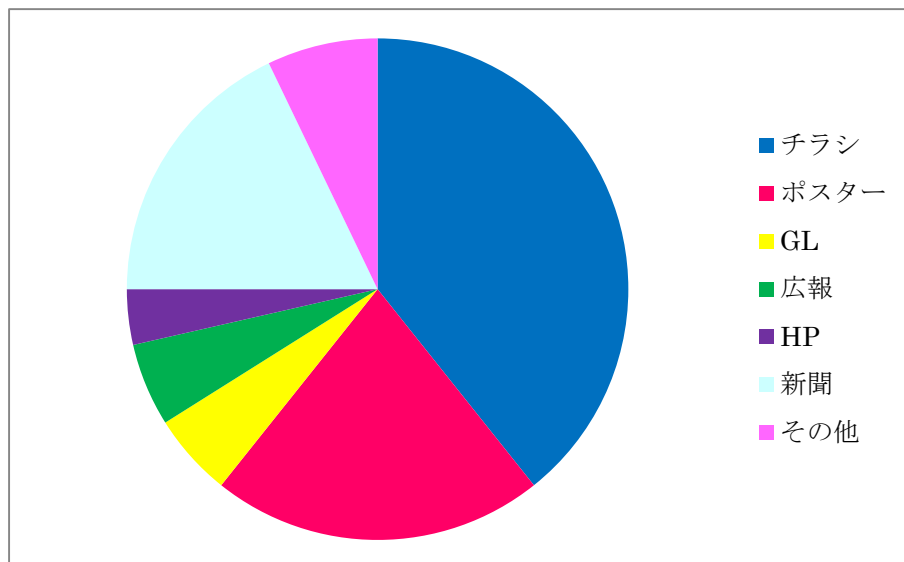
1. 男女比



2. 参加地区



3. 広報媒体



・作品の選出

日 時：令和2年3月8日 13:30～15:30

場 所：美幌博物館

審査委員：前川貴行（審査員長）、平野浩司（美幌町長）、三坂重弘（美幌観光物産協会会長）、鬼丸和幸（美幌博物館館長）

内 容：集まった写真を並べ、各委員が投票する形で作品の選出を行った。



最優秀賞

星降る空

大林 政司さん



前川貴行氏の講評

美幌の美しさを、雄大でありながら奇をてらうことなく表現しています。その多くは湖をおさめることの多い美幌峠からの光景ですが、この作品は反対方向となる美幌の町を写している。峠から見た町の魅力をいかに引き出すか、作者の想いとアイデアが見事に結実しました。

●風景

町長賞 ときめきの夜 滝口 和宏さん



前川貴行氏の講評

夏の風物詩である花火大会の一コマ。町の人はもちろん、近隣や道外の人々にとっても楽しいイベントでしょう。町の夜景がしっかりと取り込まれ、ダイナミックな花火と組み合わせた力強い作品に仕上がりました。

優秀賞 春の畝 井戸 教夫さん



前川貴行氏の講評

ビートでしょうか、芽吹いたばかりの畑の様子をとらえた一枚。ゆるやかな曲線が続く模様がとてもユニークです。若葉の黄緑色が春の気配をぞんぶんに発揮して、気持ちのほずむような作品になっています。収穫が楽しみです。

佳作 小さな道 風間 諒平さん



前川貴行氏の講評

うねりのある小道の先に、電車が通過する踏切。何気ない風景ですが、しっかりと計算された心地よい作品です。踏切から距離を置くことで奥行きが生まれ、スローシャッターでぶれた電車が動きを与える。赤いランプが効いています。

佳作 蒼い影 桧枝 広美さん



前川貴行氏の講評

これはまた爽やかな光景ですね。木の配置と雪面の模様が作り出す陰影が、とてもバランスよく仕上がっています。美幌では珍しくない雪景色ですが、視点を絞ることによって現れてくる、ハッとするような魅力が大いに表現されています。

佳作 MIDNIGHT AIRCRAFT 内海 大輔さん



前川貴行氏の講評

鈍く輝くシルバーの機体が、星空の下で強烈な存在感を発揮しながら、どこか落ち着きも感じます。昭和の頃に描かれたSFのような世界観がカッコいいですね。これもまた美幌の意外な魅力を伝えてくれる、ユニークな作品となりました。

佳作 晩春2 徳中 利安さん



前川貴行氏の講評

建物の中でしょうか。隙間からのぞく外に淡く咲く桜。なんとも趣のある情景ですね。このようにちょっとした視点から生み出されるものの中に、様々な感情を呼び起こす深い力が秘められているものです。発見と言ってもいいでしょう。

佳作 天まで届け 平松 将俊さん



前川貴行氏の講評

これはとても力強い写真ですね。夕日でしょうか、防風林の向こうに沈む太陽に太陽柱が立ち上っています。構図に無駄がなく、的確に対象に向き合いとらえています。時間との勝負でもあります、移りゆく時を味方にしました。

●生き物

町長賞 興味津津 牧野 猛さん



前川貴行氏の講評

作者に気づいて顔をあげているのでしょうか。タヌキは人里近くでもよく見かける動物ですが、かわいい顔をしています。まだ若いですね。動物たちも立派な美幌の住人だし、末長く共存共栄していただきたいと思います。

優秀賞 風に吹かれて！！

恩田 隆さん



前川貴行氏の講評

ため池から流れ落ちる水の柔らかさ、ぼけた手前の草や背景の彩り、そしてなによりキセキレイの片足あげて尾羽をつんと伸ばした躍動感あふれる姿が秀逸です。ふんわりとしたなかに、しっかりと主張する命の輝きが素晴らしい。

佳作 一休み 前田 武夫さん



前川貴行氏の講評

ヤマセミを見かけると、気持ちがたかぶりますね。やはり特別な存在感をもつ鳥です。美幌町の温ためでよく見かけるヤマセミは、美幌の鳥と言ってもよいかもしれません。営巣場所があり、獲物が捕れる美幌は、自然が豊かであることの証です。

佳作 お食事中

小林 道臣さん



前川貴行氏の講評

花にむらがるチョウの可愛らしい光景です。このように小さな自然に目を向けてみても、美しい発見が色々あるものです。背景が暗く落ちていることによって、主役のチョウと花が浮き上がり、立体感のある優れた一枚となりました。

佳作 先を見据えて 渡部 智菜さん



前川貴行氏の講評

秋が深まりゆくなかにあって、ゴジュウカラはいつでも活発に動き回っています。枯れた色味が全体に広がりますが、そのことで逆にゴジュウカラの存在感が浮き立ってきます。シックな装いが似合うことを改めて感じました。

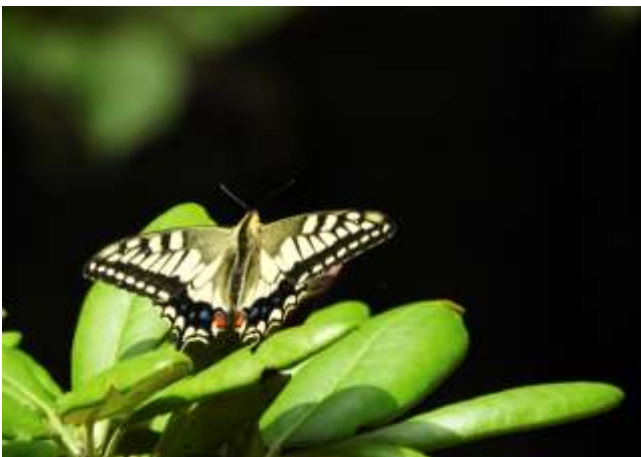
佳作 無題 中村 貢さん



前川貴行氏の講評

これはユニークな瞬間をとらえました。大きな木ノ実でもくわえているのかと思ったら、子どもだったのですね。初めて見ました。すごい。子どもをくわえて安全な場所に移動するところでしょう。小さなドラマを見事に見つけました。

佳作 美幌高校に来た妖精 梅澤 憂捺さん



前川貴行氏の講評

羽を広げて葉のうえで休むアゲハチョウ。チョウをしっかりと見せて、葉っぱのバランスもよく考えて撮影できました。バックにぼけた葉があるのも奥行き感を出すのに一役買っています。身近な自然をしっかりとらえました。

●人物

町長賞 朝の挨拶

塩浜 郁夫さん



前川貴行氏の講評

なんともほのぼのとした光景です。屈託のない子どもたちの姿が、そのまま表れていますね。面白おかしくしているのですが、大人が思うのと同様、ご苦労様ですといった気持ちが当然あるのでしょうか。隊員の笑顔がまたいいです。

優秀賞 入るかな？

佐渡谷 正裕さん



前川貴行氏の講評

豪快でありながらおかしさがこみ上げる祭りですね。写っている人たちがみな楽しんでいる様子が伝わってきます。こちらに向かって雪が飛び出してくるようなほど、臨場感あふれる光景です。これを見たらみな参加したくなりますね。

佳作 美幌の町を PR するゾ！ ケロッピーさん



前川貴行氏の講評

大きな杵を一生懸命に振り下ろしています。今の子どもたちにとって、餅つきはかなり珍しい体験でしょう。どことなく緊張感のある表情がまたいいですね。手間暇かかって大変ですが、こうした日本ならではの行事も続けて行きたいですね。

佳作 駅を支える人々 風間 諒平さん



前川貴行氏の講評

凍りついたホームで仕事をする作業員の方々。美幌の人々の暮らしを支える重要な役割を担っていますね。自然風景以上に、こうした光景からはこの地の厳しさが伝わってくるようです。モノトーンの中に柱や作業着の色味が映えますね。

佳作 大好きなじいじのトマト 中川 綾さん



前川貴行氏の講評

これはもうコメントの必要がありません。タイトルを見るとおじいちゃんが作ったトマトを食べています。都会ではこんな経験はまずできません。農業の盛んな美幌ならではのファミリースナップです。間違いなくおいしいでしょう！

佳作 釣りバカなんです

BASTIDE FREDERIC さん



前川貴行氏の講評

おそらく護岸工事などがほとんどされていない、自然の状態を保った川ではないでしょうか。こういう川で釣りができるのは、釣り人にとっては最高のロケーションでしょう。魚が豊富に生息するには、地域の土壌が健全でなければなりません。



前川貴行氏の講評

青空の下、広々としたゲレンデで滑るのは、そうとう気持ちがいいでしょう。町のすぐ近くにこんな場所があるなんて、かけがえのない貴重な財産です。僕はスキーが下手くそなので、子どもの頃からスキーを楽しめる環境がうらやましいです。

3(1)②スライド会の実施

日 時：令和 2 年 3 月 28 日 9:30～17:00

場 所：美幌博物館 2 階 特別展示室

講 師：前川貴行（動物写真家）

参加人数：76 名

内 容：前川氏が世界中で撮影した野生動物の写真を紹介し、撮影の様子や生き物の生態などについて、お話いただいた。来館者の多くは、直接前川氏と対面することができ感動していた。

そ の 他：コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた講習室から、空間の広い展示室に実施場所を変更した。また、混雑時には入場制限を行い、感染防止の配慮を徹底した。

2(1)③フォトコンテスト品評会

日 時：令和 2 年 3 月 29 日 9:30～17:00

場 所：美幌博物館

講 師：前川貴行（動物写真家）

参加人数：44 名

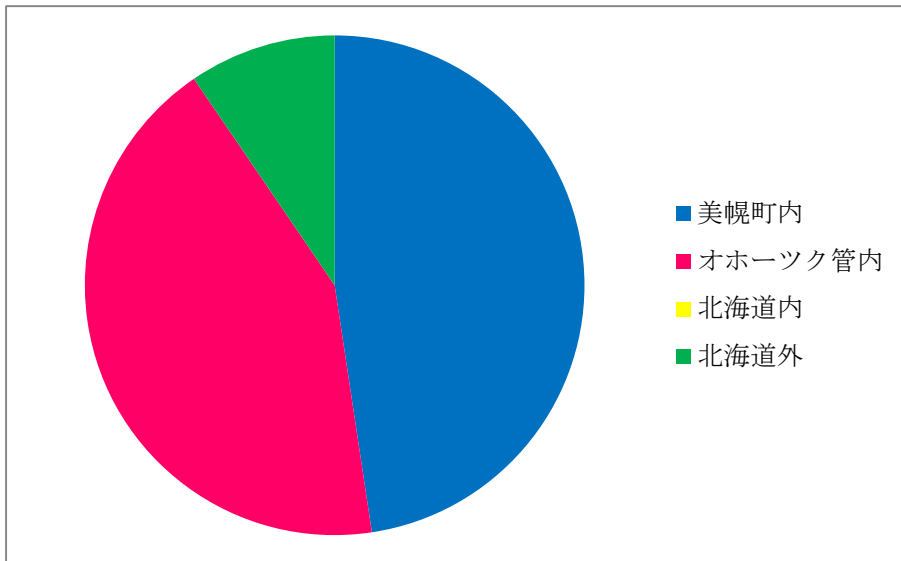
内 容：入賞者には、前川氏より直接表彰状を渡していただいた。その後、作品に関する品評を行った。入賞できた理由を知ること、どのような撮影を心掛けたほうが良いのか知ることができた。最後に、特別展「写真家 前川貴行の生き物バンザイ！」と、その他の入賞作品を観覧した。一流の芸術作品と自分の入賞作品が同じ展示室に並ぶことで、芸術活動への意欲を向上させることができた。

そ の 他：コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた講習室から、空間の広い展示室に実施場所を変更した。また、混雑時には入場制限を行い、感染防止の配慮を徹底した。

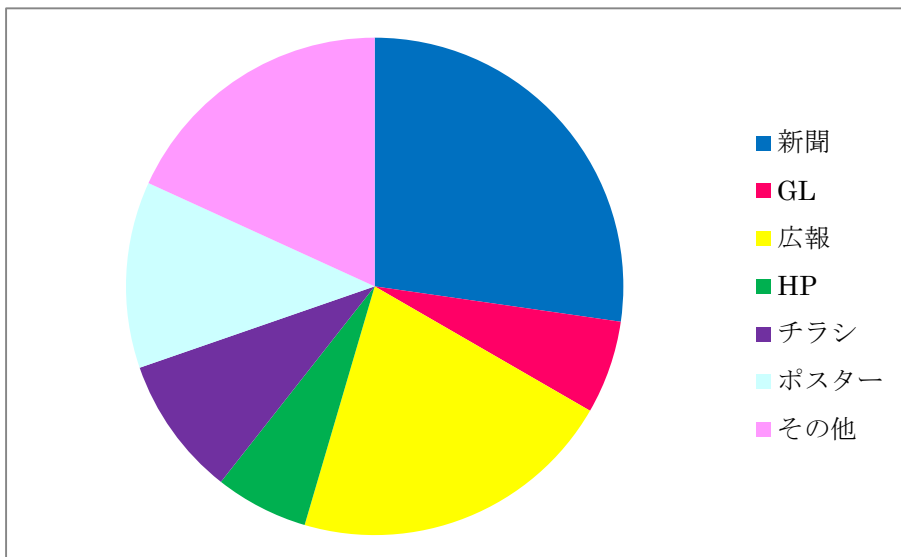


特別展 アンケート集計結果

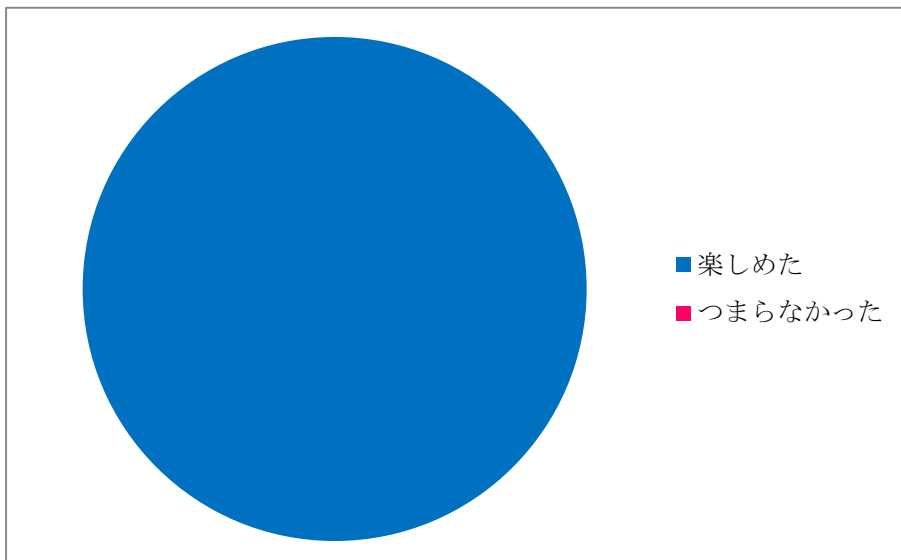
1. お住いの地域を教えてください



2. 今回の特別展は何で知りましたか？

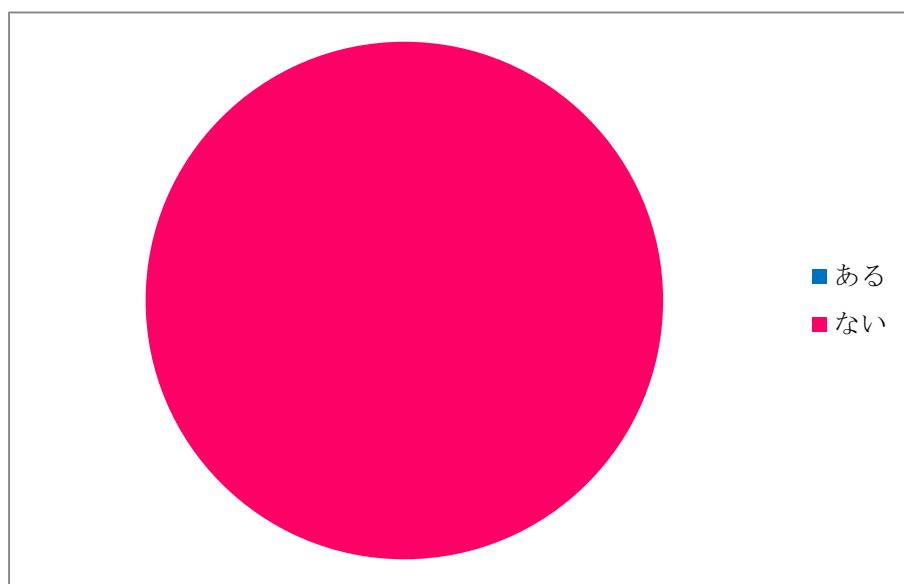


3. 特別展は楽しめましたか？



- ・プロの写真をまの当りに観しょう出来た
- ・構図の素晴しさ前川さんならではの。
- ・前川さんと直接話せた。
- ・動物の内面、瞳の奥、生き抜く力を写真から感じました。
- ・とてもたくさんの、しかも大きな作品もあり、迫力と繊細さを感じました。
ライティングも良かったです。
- ・展示作品の多さ、大きさです。とくに大きくプリントされたものはその動物の様子、撮影時の空気が感じられそうです。
- ・被写体までの距離、F 値等を考えながら見たので非常に楽しかった。
- ・たくさんの迫力ある写真を見れました。
- ・「迫力満点」こんなに感動した写真展はじめて！！
- ・自然の中で生きる動物たちの“迫力”が写真から伝わってきました。
- ・とにかく、スケールが大きい！よくぞ撮ったと思う作品ばかり。
- ・動物の迫力
- ・とても感動させて頂きました。また、ぜひ美幌に来てください。
- ・すごい迫力の貴重な写真をたくさん見られて楽しかったです。世界各地の写真、様々な動物の写真で面白かったです。

4. つまらなかった内容がありますか？



- ・ない。全部すばらしいです。

5. 特別展の感想や、博物館で取り組んでほしいこと（展示会や講座など）があればご記入ください。

- ・また企画してほしいです。
- ・今回はコロナウィルスの関係でトークがなくなってしまいましたが、前川さんがいらしていろいろお話が聞けて、良かったです。
- ・表彰式が中止になり残念ですが、次回のトークにはまたお伺いしたいです。
フォトコンを同時に開催というアイデアは素晴らしいと思います。
- ・今は思いつきません。
- ・小学生、中学生、各学校にもっと PR して下さい。

- ・知り合いにこの感動を伝えたいです。まずは娘と一緒にもう一度来たいです。
- ・自分もこんな写真が撮りたいなー。
- ・素晴らしい写真の数々。たくさんの方が来るよう PR 等、考えてやってほしい。期待しています。
- ・題_____がない。想像してくださいということを紹介。ちょっと豆知識みたいなのが良い。
- ・また恐竜の展示をしてもらいたいです。